

# 令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月19日(土)⑥

担当部局・担当課名: 厚生部健康対策室

<b>事業名</b>	①食の健康づくり推進事業(健康寿命日本一応援店) ②野菜をもう一皿! 食べようキャンペーン事業	<b>評価結果</b>	役割分担見直し
------------	--	-------------	---------

## 事業レビューにおいて発言のあった主な意見

### 【委員の意見】

- ・キャンペーンや各店舗に参加してもらうような活動を県でやる必要はない。
- ・県よりも市町村で実施した方が良いのではないかと。市町村が主体的な取組みを実施できるよう工夫しなければならないのではないかと。
- ・野菜を買ってもらえる仕組みを作ったほうが良い。
- ・県は各地域別の疾患の情報をしっかり県民に伝えることに特化し、運動は住民に近い市町村にやってもらうのが良い。
- ・何かほかのやり方があるか改めて見直さないと、このまま事業を続けても効果は得られない。

### 【県民評価者の意見】

特になし

## 県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数

20

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (個々人の問題であり、県関与不要)	役割分担 見直し (市町村主体での実施、県の役割見直し)	抜本的改善 (実施方法の抜本的見直し)	一部改善	現行どおり ・拡充
	3	7	5	4	1
県民評価者の主なコメント	<b>【役割分担見直し】</b> ・県の保健センターが県下に配置されているので、各市町村と統計を共有し、地区ごとでの対策を実施する。 ・地域ごとの健康データをより多くの人に知ってもらうような情報の届け方を再考 ・役割を見直すことで目標やその達成状況の検証もしやすいかと思う。				
	<b>【行政の関与不要】</b> ・食に関わる発信や食育啓蒙活動は一定の役割を果たしたので、県で実施せずとも各家庭に任せよのではないかと。 <b>【抜本的改善】</b> ・野菜を食べないといけないとわかっている県民はほとんどだと思うが、野菜を食べないことのリスク、食べるメリットに気づききっかけを与えるべき。 ・働き盛り世代の野菜摂取量が少ない理由について、現状把握を行い、抽出した問題点を明確にすべき。コンビニ・スーパーのお惣菜に働きかけるのもよいのではないかと。 <b>【一部改善】</b> ・同事業を知らなかった。PRの強化、改善を図るべき。 <b>【現行どおり・拡充】</b> ・各市町村主導のもと、県は補助的役割を担う形とするなど、連携しながら進めるべき。				

## 【参考】委員による評価

委員総数

4

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
		2	2	0	0